

令和3年度 途上国森林ナレッジ活用促進事業 ナレッジ活用実証調査に係る提案の評価項目一覧

件名/団体名：

評価項目	配点	評価ポイント	配点				評点	摘要 (評価理由等を記入)
			一	優	普通	劣		
1 実証調査計画	50	① 実証内容 ア 途上国の森林資源を活用した事業に係る「課題」Aが明確に分かる。事業については、経緯や実績が明示されている	5	5	3	0		
		イ アの課題に活用する、(加工や、活用方法、市場へのアクセスや付加価値向上に関する)日本に存在する「ナレッジ」Bが、明確に分かる。その選択・提案に矛盾がない	5	5	3	0		
		ウ 「目標」Cは、途上国が森林資源を持続的に活用して住民の生計向上に資する取組とわかる。また、Cは、課題AにナレッジBを活用した結果の目標として矛盾がなく、妥当・適切である	5	5	3	0		
		エ 現地・国内でナレッジが普及される可能性が分かる	5	5	3	0		
		オ 効果的な工夫や独創的な手法・取組がなされている	10	10	5	0		
		② 計画 ア 目標に向けた個別の実証活動と、それにより得られる成果を明示し、矛盾なく内容が分かる	10	10	5	0		
		イ 新型コロナウイルスによる移動制限リスクも踏まえた実施性の高い設計になっている。または妥当・適格な代替案がある	10	10	5	0		
2 スケジュール	10	① 日程計画が、無理なく実現可能と分かる	5	5	3	0		
		② 個別活動を、目標を達成するステップとして矛盾なく、順序だてて組んでいる	5	5	3	0		
3 実施体制	5	円滑に業務を遂行できる人員体制になっている	5	5	3	0		
4 実施能力 (実施団体や業務担当予定者の経験・能力)	30	① 業務を行う上で適切な財政基盤、経理処理能力を有している	5	5	3	0		
		② 課題Aについて、必要十分な知識・知見、研究実績、経験を有している、または必要十分な人的ネットワークを確保している	5	5	3	0		
		③ ナレッジBについて、必要十分な知識・知見、研究実績、経験を有している、または、必要十分な人的ネットワークを確保している	5	5	3	0		
		④ 現地協力関係先を確保し、相手方が実証計画等を遂行するために必要十分な能力があり、また協力してもらえる関係と分かる	5	5	3	0		
		⑤ 業務責任者は、リーダーとしてチームを指導して業務を遂行するために十分な能力・実績を有する	5	5	3	0		
		⑥ 担当者は、業務を遂行するために十分な能力・実績を有する	5	5	3	0		
5 その他	5	積算経費が妥当な内訳になっている。委託等(ある場合)の内容、金額は適切である	5	5	3	0		
	100		合計	100				

注) 80点以上を採択対象とする。応募の辞退等のやむを得ない事情がないかぎり、評価点が高い案件を採択する。